

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 7 月 5 日(日) 午前 10 時～11 時 30 分
場 所 赤土原会館（赤土原町会・桜ヶ丘東町会・桜ヶ丘仲町会）
参加者 41 人



主な意見等

参加者 今日のタウンミーティングは「赤土原」「桜ヶ丘東」「桜ヶ丘仲」の 3 町会合同ですが、このような形での実施は今までにありませんでした。来月も 2 町会が合同で実施するようですが、合同実施を取り入れた経緯を聞かせてください。

市 長 今回の 3 つの自治組織が合同して行うタウンミーティングは、市が決めたことではなく、自治組織からの意向により実施したものです。

参加者 さくらなどの樹木を食い荒らす外来の昆虫「クビアカツヤカミキリ」がいます。新聞等で報道されていますが、近隣市町村でも対応を余儀なくされている中で、ふじみ野市は発見されたとは載っていませんでした。市内の桜の木を見ますと、穴が開いていたり周りに虫食いの跡が見受けられます。本市ではどのような対策や対応を行うのか教えてください。

市 長 実は先週、市内でも県に成虫の発見報告がされ、職員が現地確認の際に成虫の死骸を回収したところです。この害虫は、外見上の被害だけでなく、幼虫の段階で木の内部を食い荒らす特徴があるため、見つけることが難しく、気づかいうちに被害が拡大する恐れがあります。市では、埼玉県とも連携しながら早急に対応を進め、被害の拡大を防止するための対策を講じてまいります。

参加者 昨年、福岡中央公園の樹木が倒れたことで、補正予算を組んで市で対応したと市議会議員さんに聞きました。桜の木の虫食い対応について、対策の予算を考えていますか。

市 長 本市では、桜をはじめとする樹木について、倒木のリスクに備えるため、樹木医による診断を実施し、その費用を予算として計上しています。さらに、先週、本市で新たに害虫が確認されたことを受け、これによる樹木への影響についても調査・対策を強化する方向で検討を進めております。

参加者 2 年前、市にお願いして会館のエアコンやトイレを交換していただいた経緯があります。現在キッチンにエアコンがないため、汗だくで利用されています。会館の利用者も高齢化が進んでいるので、熱中症を防ぐためにもエアコンの設置をお願いします。

市 長 本市では、まち全体の発展を見据えた様々な取り組みを計画的に進めております。その中でも、地域コミュニティの拠点は、住民の皆さまが安心して交流し、地域活動を促進する場として極めて重要です。このため、限られた予算の中で、その整備や活用を優先的に進めたいと考えています。

参加者 道路のことで何点かあります。まず、この赤土原会館近くの変則十字路を改良していただけないでしょうか。

次に、大井中学校の前のバス通りの歩道が狭く、雨が降ったときなど傘をさしていると、すれ違いができないところがあるので改良してほしいです。

今後、三芳町に「道の駅」ができると聞きましたが、車通りが激しくなると危惧しています。交通対策はどうなっていますか。

また、旧道を超えて国道 254 号「ふじみ野駅入口交差点」に向かう道は通学路にもなっていますが道幅が狭いです。アベソルダの脇の道も狭く、緑保育園へ送迎する車も利用しているようですが、歩行者や自転車には危険だと思います。道路を拡幅していただけないでしょうか。

市 長 本市では、昭和 40 年代に急速な人口増加があった影響から、まちの発展が十分に計画的に進められなかった地域も存在しています。そのため、一部では元々の道に住宅が張り付く形でまちが発展した地域が多いというのが実態です。

幹線道路については、民間の皆さまのご協力を得ながら、セットバ

ックや土地の買収を通じて拡幅工事を進めており、時間をかけて整備が進んでおります。ただし、生活道路の整備については、さまざまな制約もあり難しい状況ですが、交通安全を確保するための対策には引き続き取り組んでまいります。

また、赤土原会館近くの変形十字路については、民間の土地活用へのご協力をいただきながら、改良に向けて準備を進めているところです。

参加者 自転車で車道を通行していますが、横を大型トラックが走ると間隔が十分に取れず、狭い道路では事故になりそうな経験をしました。過去のタウンミーティングでも自転車走行レーンの拡充や安全対策について意見が出されていましたが、現在取り組んでいることや今後の予定があれば教えてください。

市長 自転車専用レーンを設置するためには、車道の幅と自転車通行帯の幅を併せて計算し、必要なスペースを確保することが不可欠であり、現状では自転車専用レーンを設置するのは困難な状況です。

市では、いただいたご提言を真摯に受け止めるとともに、将来的な理想の街づくりを目指し、道路整備を含めた安全で快適な環境の実現に向けた計画を進めてまいります。

参加者 ステラ・イーストやステラ・ウエストができましたが、私の住んでいる地域からでは、ステラ・イーストに行きたくても「ふじみん号」で行くには不便です。文化祭の期間だけでも「ふじみん号」の公共施設間を輸送する臨時的な運航ができないでしょうか。

市長 市では、公共施設への移動をより便利にする手段として、いわゆるシャトルバスのような交通サービスができればいいと考えています。

しかし、こうした取り組みをする際には、既存の民間路線バスとの調整が必要となります。仮に民間路線バスに影響を与える場合は、「民業圧迫」となる懸念があるほか、経営状況により民間路線の廃止につながる可能性もございます。現在、地域内の移動手段として運行している「ふじみん号」のコースについては、公共交通活性化協議会を通じてバス会社、タクシー会社、陸運局、警察など関係機関と連携し、利便性向上に向けた協議を続けています。本市といたしましても、政策効果を高め、皆さまの移動をより快適にするためにできる方策を引き続き模索してまいります。

参加者 県職員赤土原宿舎先の交差点で、大雨が降った時に雨水があふれて

しまったことがあります、その対策としてグレーチング升を設置していただきました。普通車が通る分には問題はないのですが、夜中１２時半ごろ大型トラックが通るとかなり家が揺れるようになってしまったため、何とか対策をしてほしいです。

市 長 グレーチング升等が老朽化している可能性もあるため、現場を見て確認させていただきます。

参加者 図書館の前の「市民憩の森」ですが、以前は素敵な環境でしたが、今は半分程度駐車場にとられ、雑草が繁茂している状況となっています。以前は、山野草を植えるなど大人の休憩場所として皆で楽しみにしていました。今後の予定はどうなっていますか。

市 長 もともとの経緯として、鶴ヶ丘小学校の前にあった土地を民間の方にお借りして、野外活動広場として利用していましたが、所有者の方に返却することになりました。そこで、新たに聖路加国際財団に現在の土地をお借りし、「市民憩の森」として皆様に利用していただいてまいりました。

しかし現在、土地の半分については住宅開発が進んでおり、以前より規模が縮小しています。さらに、現在お借りしている土地についても、住宅開発計画が進められている状況です。

「市民憩の森」の土地については、将来的にはすべて返却することになる予定です。

参加者 住宅開発時に道路分として下げてもらい、歩道の確保することはできませんか。また、電柱を道路上ではなく中に入れていただけませんか。

市 長 歩道の確保や電柱に関する調整については、地権者の了承が必要となり、個別に敷地内に入れてもらうことができないケースもあります。開発が行われる際には、周辺環境がより良くなるよう、開発事業者と協議を重ね、地域の利便性の向上に努めてまいります。

参加者 旧大井町の主要道路は、もともとがトラックやバスが通る道ではなかったのではないのでしょうか。文京学院大学近辺や関越自動車道に抜ける道路も自転車で走るのは怖いと感じています。企業を誘致する際は都市計画の観点から進めていかないと、後で不都合が生じてしまうのではないのでしょうか。

市 長 街づくりを進めていく上で、市では法律や制度に基づいた計画の策定を行ってまいりました。しかし、過去においては、大規模開発を進

める際に地区計画を策定し、計画の中で道幅を通常より広げるなどの取り組みを進めるべき場面がありましたが、十分に実現できなかった事例もございました。

今後は、新たに誘致を進める企業や地権者の皆さまにも、道路拡幅をはじめとした街づくりへのご協力をお願いしながら、利便性や安全性に配慮した計画を進めてまいります。